

# 鳥取県のさいばい漁業を育む

～地域の特産物づくりをめざして～



鳥 取 県

# さいばい漁業に求められること

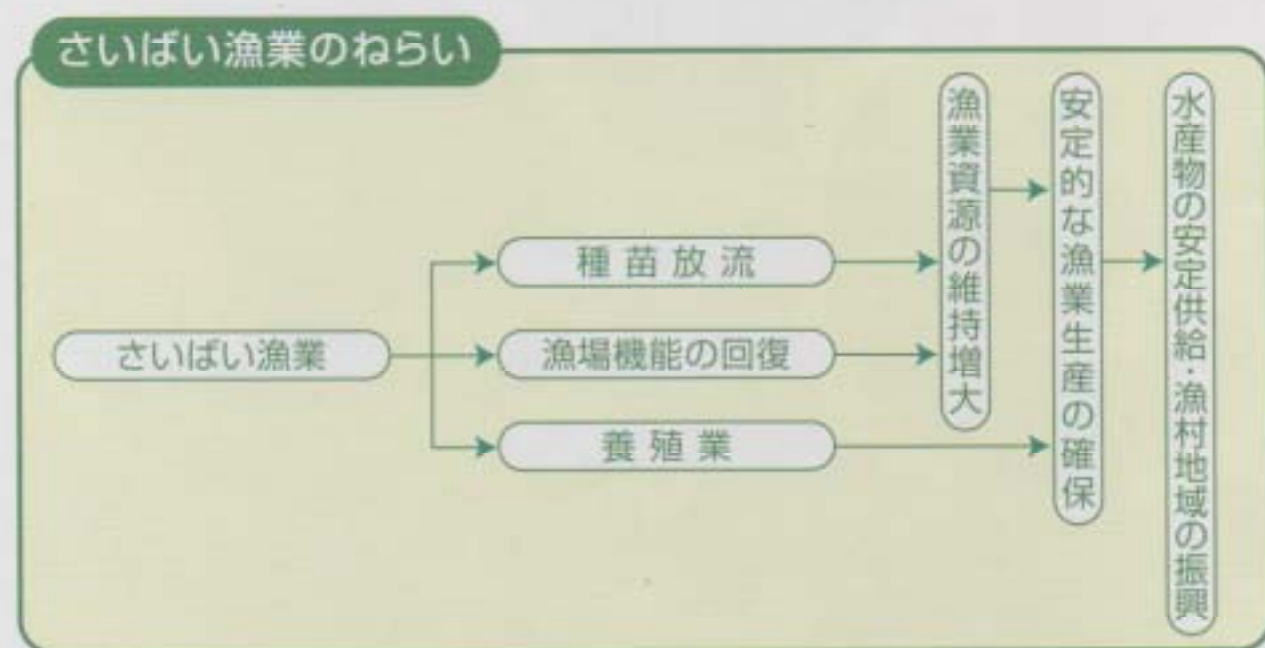
鳥取県は、日本海という豊かな海のおかげで四季折々においしい魚介類に恵まれています。

しかし、さかなのとりすぎや海の環境の変化が進んでいる中であって、「獲るだけの漁業」を続けていたのでは、近い将来、鳥取の漁業や食文化もすたれていくことが心配されます。

そこで、鳥取県では、人工的に育てたアワビ、サザエ等の「種苗放流」、藻場の造成やイワガキ漁場の再生等による「漁場機能回復」、水槽や生けすなどで育てて出荷する「養殖業」により、安定した水産物の確保や、食文化の維持を図る「さいばい漁業」を活用した地域づくりを応援していきたいと考えています。

近年、漁業者からは、「地域に定着する魚を増やして欲しい」、「安定した漁業収入を得るため養殖に取り組みたい」、「海藻やイワガキが減って昔のような豊かな漁場に回復したい」といった声が、また一般県民からも「養殖を手掛けたいので技術を教えてほしい」、「海の環境が悪化しているのもっと原因究明や回復策に目を向けて欲しい」など、さいばい漁業へのニーズや期待が今以上に求められています。

このパンフレットは、県内で行われている「さいばい漁業」の取り組みについて紹介します。



＊表紙写真 左上:イワガキ種苗の海中ブロックへの貼り付け作業(東浜) 右上:サザエの放流作業をしている漁業者(淀江)  
真中:アラメ海中林 左下:御来屋のサザエ祭り 右下:養殖クルマエビ出荷作業(浜村)





# 1. 種苗放流の取り組み

## 鳥取県内で何を放流しているの？

**種**苗放流とは、人工的に生産した魚介類を生育に適した海域に放流して、天然の生産力だけでは足りない資源を増強しようとする取り組みです。現在、漁業者は安定した漁獲を目指し、クロアワビ、サザエ、クルマエビの種苗を購入し地元の海に放流しています。

### 種苗生産時期

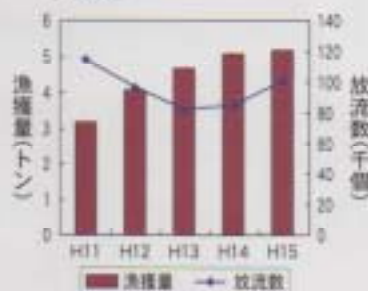
生産時期：10月から  
飼育期間：約1年6ヶ月

### 漁業者による放流

放流時の大きさ：30mm  
放流時期：3月

### 放流数と漁獲量

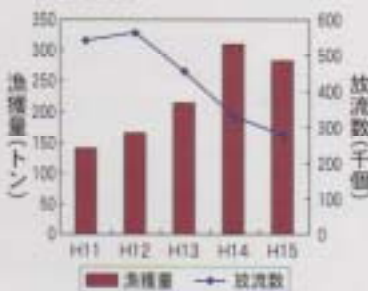
近年、約10万個を県内各地に放流し、漁獲量は増加しています。



生産時期：6月から  
飼育期間：約1年

放流時の大きさ：9mm  
放流時期：6月

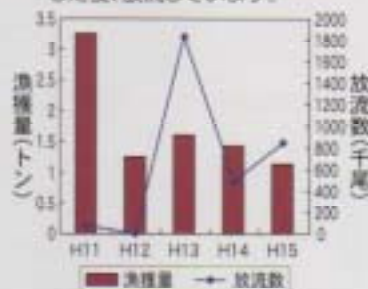
近年、約30万個を県内各地に放流し、漁獲量は増加傾向にあります。



生産時期：5月から  
飼育期間：約3ヶ月

放流時の大きさ：28mm  
放流時期：8月

美保湾では、漁獲量の回復に向け、約400万尾の種苗を浅瀬の田い網の中で1週間飼育した後、放流しています。



## 放流した種苗を守るため

漁業者は、放流したアワビ・サザエの稚貝がたくさん生き残るよう、岩場の掃除や害敵となるヒトデの駆除、保護区域の設定、密漁監視、漁獲サイズの取り決めなどの資源管理を行っています。



えさ場の豊富な漁場に放流します。



ヒトデなどの害敵を駆除します。

## 種苗放流による漁獲の安定を目指して（実践活動事例）

### 禁漁区を設定したアワビ漁場管理（御来屋地区）

御来屋地区では、放流区域を3年間禁漁区に設定し害敵駆除を行いながら漁場管理を実施しています。

### サザエの中間育成管理の実施（淀江地区）

淀江地区では、6mmサイズのサザエ種苗を淀江沖のサザエ中間育成ブロックに放し、20mm前後まで大きくしてから再び餌の豊富な漁場に放流しています。

### アワビ、サザエ漁場管理の強化（赤碓地区）

赤碓地区では、放流アワビ・サザエの適正な漁場管理を行い安定した漁獲を維持していくため「赤碓町漁業振興プラン」を策定しました。

### クルマエビの囲い網馴致放流の実施（境港地区）

境港では、境水道の浅瀬に設置した囲い網にクルマエビの種苗を移し、その中で害敵から身を守る力（砂に潜る力）をつけた後に自然の海に放流しています。



サザエ中間育成ブロックから取り上げたサザエの選別作業（淀江）



クルマエビの囲い網設置作業（境港）



## 新たな放流種苗の開発に向けて

現在、漁業者からの要望を受けオニオコゼ、ホンメイトガレイ、バイ、イワガキ、メガイアワビの種苗生産試験や放流試験を行っています。

### オニオコゼ



磯の高級魚で広範囲に移動しない性質から、放流対象種として漁業者が注目している魚種です。

### ホンメイトガレイ



メイトガレイ類の中でも高級魚であるホンメイトガレイは、近年漁獲量が減少しており、種苗放流による資源の回復が期待されています。

### バイ



美保湾の特産種。米子・淀江地区の祭りに欠かせないバイは、好不漁が大きく、種苗放流による漁獲の安定が期待されています。

### イワガキ



鳥取の夏といえばイワガキ。県の特産品イワガキも漁業者の間から資源の減少が心配されています。

### メガイアワビ



岩石海岸が広がる県東部の磯場では、クロアワビより移動範囲が狭く、岩石の表面など明るい場所に生息するメガイアワビが適していると言われています。

## ヒラメ種苗放流事業の休止について

県では、天然海域でネオヘテロボツリウムという寄生虫が発生し、放流した小型のヒラメに影響を与えていることが判ったため、平成15年度からヒラメの放流事業を一時休止しました。  
(この寄生虫は小型ヒラメの鰓や喉(非食部)に寄生しており人には害はありません)



## 2. 漁場機能の回復に向けた取り組み

### 漁場機能の回復って何？ ●●

**漁** 場機能の回復とは、アワビ、サザエ、魚などの住み場やえさとなる海藻の減少、イワガキの付着量の減少といった自然のままでは回復が難しい漁場環境を人工的に改善することです。現在、アラメ移植による海中林の造成やイワガキ漁場の再生、拡大に取り組んでいます。

### アラメ海中林の造成

県では、岩盤、漁港内の防波堤、<sup>カド</sup>潜堤などに人工的に育てたアラメの移植を行い藻場の造成に取り組んでいます。青谷や泊では造成したアラメが母藻となり、周辺に孢子をとばしアラメ海中林が形成され、魚介類の産卵場や貝類のえさ場となっています。



アラメの移植風景



造成されたアラメ海中林

### イワガキ漁場造成

イワガキの幼生は、フジツボや海藻などがいないきれいな岩盤でないと付着しにくい性質があります。そのため、漁業者は岩盤を掃除してイワガキの幼生の付着を促したり、小型のイワガキを水中ボンドで接着するなどイワガキの漁場づくりに取り組んでいます。



鯛代地区、夏泊地区の漁業者は岩盤清掃によるイワガキ漁場造成に取り組んでいます。



浜村地区の漁業者は、天然海域から稚貝を採取し海中のブロックなどにボンドで接着する取り組みを行っています。





## 3. 養殖業の取り組み

### 県内で何を養殖しているの？

**養**殖とは、海面生けすや池・水槽で大きく育ててから出荷する漁業で、県内ではヒラメやクルマエビ、ワカメ養殖などが行われています。現在、県では養殖を始める人や企業の支援とともに、成長が早く病気に強いヒラメの品種づくりなどを行っています。

#### 種苗購入

5cmサイズのヒラメを仕入れて飼育します



※養殖場所：米子、浜村など

#### 養殖

場所：陸上、海面施設  
期間：1～2年間



#### 出荷

出荷サイズ40cm以上  
旅館・ホテル・料理店などに出荷



2cmサイズのエビを仕入れて飼育します



※養殖場所：淀江、浜村

場所：ヒラメの中間育成施設の活用  
期間：約7ヶ月



出荷サイズ15cm以上  
旅館・ホテル・料理店や産地用に出荷



ワカメの種が付着したロープを海面に張ります



※養殖場所：淀江、赤碕、若美

場所：漁港内  
期間：約3ヶ月



出荷サイズ30cm以上  
板ワカメや学校給食用に出荷



そのほか、淀江ではノリの養殖も行われています。

### さいばい漁業で育む地域振興事例

#### 御来屋のサザエ祭り

御来屋地区では特産のサザエを核とした地域づくりを行っており、毎年7月の海の日にサザエ祭りを開催しています。

#### 養殖業を活用した地域特産品づくり

浜村地区では、クルマエビ、ヒラメを、米子地区ではヒラメを地域の特産物としていくため、養殖業を行っています。

#### 学校給食向けのワカメの出荷

赤碕町漁協では、養殖ワカメや天然ワカメを学校給食向けに出荷しています。

## あなたも養殖事業に取り組んでみませんか! (県の養殖支援事業の紹介)

### ヒラメ養殖技術者の育成を応援します!

財団法人鳥取県栽培漁業協会では、これまで開発してきたヒラメの飼育技術や種苗生産技術を県内に広めていくため、平成15年度から「ヒラメ養殖技術指導」を行っています。

飼育研修や現地試験など、ヒラメ養殖技術のノウハウを直接指導いたします。

問合せ先：財団法人鳥取県栽培漁業協会  
TEL 0858-34-3321



ヒラメ

### 魚類養殖で地域振興を支援します!

養殖業を新たに始めたいとお考えの方、まずは試験的な規模で始めてみませんか。現場での技術指導や、飼育資材、市場調査など事業化に向けた準備体制を整えることを「地域養殖業振興事業」で支援します。

問合せ先：県水産振興局水産課  
TEL 0857-26-7316  
県栽培漁業センター  
TEL 0858-34-3321



ホンモロコ

### 鳥取県農林水産部水産振興局水産課

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目220番地

TEL 0857-26-7316

FAX 0857-26-8131

(発行：平成16年3月)

